



追加型投信／海外／株式／ETF／インデックス型

ファンド情報提供資料
(データ基準日: 2026年5月末)

MAXIS米国AIインフラ株上場投信

< 銘柄コード: 552A >

当ファンドのポートフォリオの状況について

・本資料では、「MAXIS米国AIインフラ株上場投信」を「当ファンド」といいます。

平素は「MAXIS米国AIインフラ株上場投信」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
2026年3月31日に上場した当ファンドの純資産総額は、2026年5月末時点で19.6億円となりました。
今回は投資家の皆さまへ、当ファンドの概要とポートフォリオの状況をお知らせいたします。

MAXIS米国AIインフラ株上場投信の概要

銘柄コード

552A

上場日

2026年3月31日

対象指数

NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Index(円換算ベース)

運用管理費用
(信託報酬)*日々の純資産総額に対して、
年率0.5225%(税抜 年率0.475%)以内をかけた額

決算日

年2回(毎年1・7月の各26日)
※初回決算日は2026年7月26日です。市場価格・
取引所における売買単位

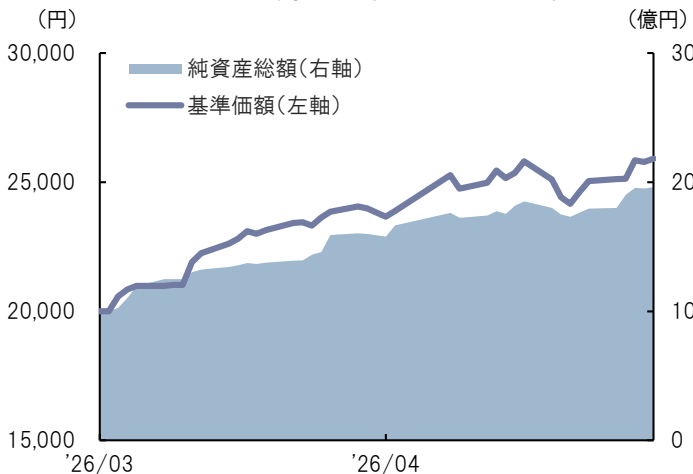
1口当たり2,614円(2026年5月29日終値)・1口単位

*(有価証券の貸付の指図を行った場合)有価証券の貸付の指図を行った場合には品賃料がファンドの収益として計上されます。その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取ります。この場合、ファンドの品賃料およびマザーファンドの品賃料のうちファンドに属するとみなした額の49.5%(税抜 45.0%)以内の額が上記の運用管理費用(信託報酬)に追加されます。

・運用管理費用(信託報酬)の他に、その他の費用・手数料がかかります。くわしくは、後記の「ファンドの費用」をご確認ください。

基準価額(10口当たり)および純資産総額の推移

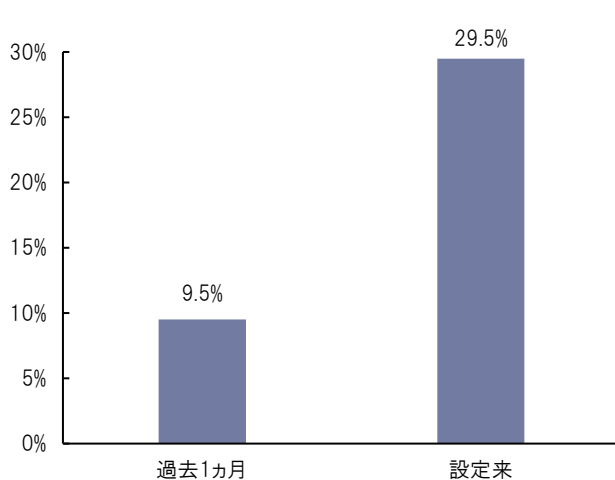
(期間: 2026年3月30日～2026年5月29日)



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

当ファンドの騰落率

(期間: 2026年3月30日～2026年5月29日)



・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、設定日を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合でも、分配金(税引前)は考慮していません。

・上記は、過去の実績であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

指数構築の概要

当ファンドの対象指数であるNYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Index(円換算ベース)は、AIの活用を支えるインフラ領域に関連する米国上場株式等を選定します。

STEP① 銘柄の抽出

米国市場に上場する銘柄の中から、主なカテゴリ*1に関連する企業（AIインフラ関連産業の売上高比率が50%以上）を抽出

※カテゴリは以下

- ・ クラウドインフラ
- ・ データセンター
- ・ 電力公益事業*2
- ・ 電気・電力関連機器
- ・ エネルギーインフラ
- ・ 産業用電気機器
- ・ 半導体 など

STEP② 銘柄の絞り込み

各カテゴリで時価総額上位5銘柄を選定

STEP③ 銘柄の決定

STEP②で絞り込んだ銘柄のうち、時価総額上位30銘柄で構成

※構成比率は時価総額加重

※個別銘柄の上限は5%とし、超過分は他銘柄へ比例配分

(出所)ICE Data Indices,LLCのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

*1主なカテゴリとは、NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Indexにおいて、FactSet RBICS Level 6を基にAIインフラ関連銘柄を以下の通り分類したものです。具体的には、クラウドインフラ、データセンター、電力公益事業、電気・電力関連機器、エネルギーインフラ、産業用電気機器、半導体などです。
*2主なカテゴリのうち電力公益事業は、原子力および再生可能エネルギーの発電設備容量比率を算出し、40%未満のものを除外します。
・上記は指数構築の概要であり、すべてを網羅するものではありません。また、今後変更されることがあります。

4つの領域でAIの成長を支えるAIインフラ業界

	主なカテゴリ	業界説明
AIの部品をつくる	産業用電気機器	「産業用センサー」「制御装置」「モーター」などAI機器の“体”を構成するハードウェア部分を作っています。
AIの頭脳をつくる	半導体	AIの計算を担う「チップ(CPU、GPU、AIチップ)」などを設計・製造し、AIの学習・推論を行う“頭脳”の部分を作っています。
AIを育てる	データセンター	AIの学習やデータ処理を行うための巨大なサーバー施設やクラウドの基盤を提供し、AIモデルを保存・学習・運用する“育成環境”を担っています。
	クラウドインフラ	
AIを動かす	電力公益事業	データセンターや半導体工場など、AIの稼働に必要な大量の電力を供給しています。
	エネルギーインフラ	
	電気・電力関連機器	

(出所)各種資料、ICE Data Indices,LLCのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

ポートフォリオの状況

2026年5月のリバランスで、5銘柄を全売却し、5銘柄を新規に組み入れました。
カテゴリ別組入比率では、半導体や電気・電力関連機器、クラウドインフラの比率が上昇する一方、産業用電気機器やデータセンター、エネルギーインフラなどの比率は低下しました。

2026年4月末の組入全銘柄

No.	銘柄名	カテゴリ	組入比率
1	パーティブ・ホールディングス	産業用電気機器	7.1%
2	クアンタ・サービシーズ	エネルギーインフラ	6.3%
3	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	半導体	5.9%
4	ASMLホールディング	半導体	5.9%
5	台湾セミコンダクター	半導体	5.9%
6	エクイニクス	データセンター	5.8%
7	ネクステラ・エナジー	電力公益事業	5.2%
8	デジタル・リアルティートラスト	データセンター	5.1%
9	ブロードコム	半導体	4.9%
10	イートン	電気・電力関連機器	4.8%
11	エヌビディア	半導体	4.7%
12	エマソン・エレクトリック	産業用電気機器	4.4%
13	ロックウェル・オートメーション	産業用電気機器	4.1%
14	パブリック・サービス・エンタープライズ・グループ	電力公益事業	3.6%
15	コンステレーション・エナジー	電力公益事業	3.5%
16	PG&E	電力公益事業	3.3%
17	コアウィーブ	データセンター	2.9%
18	オラクル	クラウドインフラ	2.8%
19	ネビウス・グループ	データセンター	2.6%
20	エバーソース・エナジー	電力公益事業	2.3%
21	エヌベント・エレクトリック	産業用電気機器	2.0%
22	フォーティブ	産業用電気機器	1.8%
23	ジェネラック・ホールディングス	電気・電力関連機器	1.3%
24	AES	エネルギーインフラ	0.9%
25	GDSホールディングス	データセンター	0.7%
26	オーマット・テクノロジーズ	エネルギーインフラ	0.6%
27	ブルックフィールド・リニューアブル・パートナーズ	エネルギーインフラ	0.5%
28	ドロップボックス	クラウドインフラ	0.4%
29	サンラン	エネルギーインフラ	0.2%
30	ニュースケール・パワー	電気・電力関連機器	0.1%

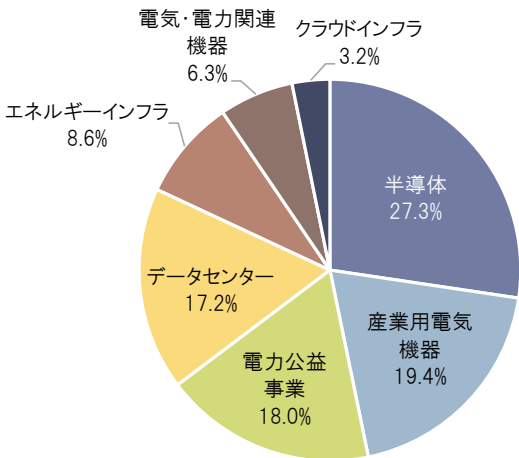
2026年5月末の組入全銘柄

No.	銘柄名	カテゴリ	組入比率
1	マイクロン・テクノロジー	半導体	8.2%
2	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	半導体	6.7%
3	オラクル	クラウドインフラ	5.8%
4	エヌビディア	半導体	5.0%
5	台湾セミコンダクター	半導体	4.9%
6	ブロードコム	半導体	4.7%
7	エマソン・エレクトリック	産業用電気機器	4.7%
8	クアンタ・サービシーズ	エネルギーインフラ	4.6%
9	エクイニクス	データセンター	4.6%
10	パーティブ・ホールディングス	産業用電気機器	4.4%
11	デジタル・リアルティートラスト	データセンター	4.4%
12	イートン	電気・電力関連機器	4.3%
13	GEベルノバ	電気・電力関連機器	4.2%
14	コンステレーション・エナジー	電力公益事業	4.2%
15	ネクステラ・エナジー	電力公益事業	4.1%
16	ロックウェル・オートメーション	産業用電気機器	3.5%
17	エクセロン	電力公益事業	3.2%
18	ネビウス・グループ	データセンター	3.1%
19	パブリック・サービス・エンタープライズ・グループ	電力公益事業	2.7%
20	コアウィーブ	データセンター	2.5%
21	PG&E	電力公益事業	2.5%
22	エヌベント・エレクトリック	産業用電気機器	1.8%
23	フォーティブ	産業用電気機器	1.2%
24	ジェネラック・ホールディングス	電気・電力関連機器	1.1%
25	デジタルオーシャン・ホールディングス	クラウドインフラ	0.8%
26	AES	エネルギーインフラ	0.7%
27	オーマット・テクノロジーズ	エネルギーインフラ	0.6%
28	MYRグループ	エネルギーインフラ	0.5%
29	GDSホールディングス	データセンター	0.5%
30	ブルックフィールド・リニューアブル・パートナーズ	エネルギーインフラ	0.4%

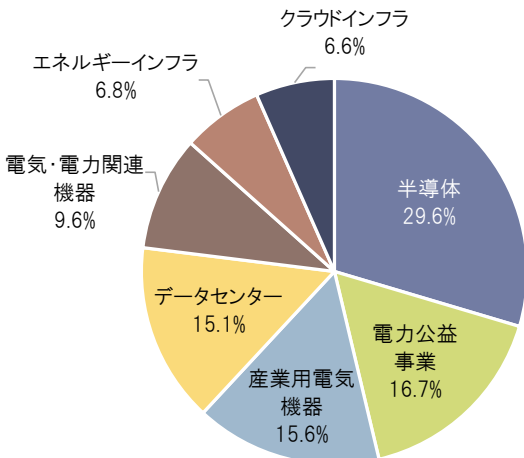
全売却した銘柄 新規組入銘柄

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、2026年4月末および2026年5月末時点における組入全銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

2026年4月末のカテゴリ別組入比率



2026年5月末のカテゴリ別組入比率



・カテゴリは、NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Indexにおいて、FactSet RBICS Level 6を基にAIインフラ関連銘柄を分類したものです。
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
・組入比率は現物株式部分をベースとした数値です。
・上記は、過去の実績であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

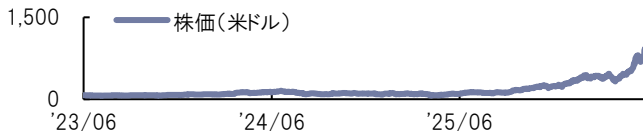
組入銘柄のご紹介および株価の推移

半導体

マイクロン・テクノロジー【MU US】

組入比率:8.2%

マイクロン・テクノロジーは、子会社を通じてDRAMチップ、SRAMチップ、フラッシュメモリ、半導体部品、メモリモジュールなどを製造、販売。

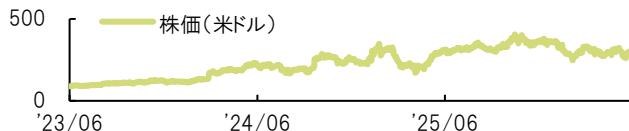


電力公益事業

コンステレーション・エナジー【CEG US】

組入比率:4.2%

コンステレーション・エナジーはエネルギー会社。炭素を排出しないエネルギー、持続可能なソリューションを生産。原子力、水力、風力、太陽光の各エネルギーソリューションの発電と販売に従事。米国の一般家庭、法人顧客、公共部門、コミュニティ・アグリゲーション、企業に対してサービス事業を展開。

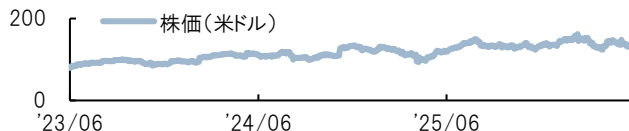


産業用電気機器

エマソン・エレクトリック【EMR US】

組入比率:4.7%

エマソン・エレクトリックは、電子・電気機器、ソフトウェア、システム、サービスの設計・製造会社。世界の工業、商業、一般消費者向けに、ネットワークパワー、プロセスマネジメント、インダストリアル・オートメーション、冷凍空調制御、コマーシャル&レジデンシャル・ソリューションなどの事業を展開。

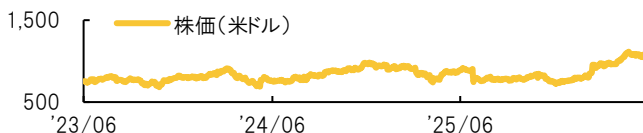


データセンター

エクイニクス【EQIX US】

組入比率:4.6%

エクイニクスは不動産投資信託。相互接続データセンターに投資する。クラウド・情報技術、企業、ネットワーク、モバイルサービス提供社、および金融会社向けのネットワークおよびクラウドニュートラルなデータセンター・プラットフォームに特化。

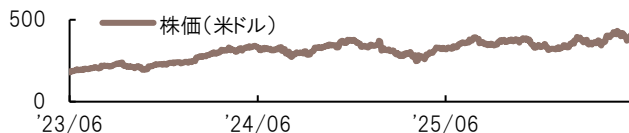


電気・電力関連機器

イートン【ETN US】

組入比率:4.3%

イートンは電力管理会社。アクチュエータ、クラッチ、ブレーキ、流体コネクタ、産業用制御器、センサー、モーター、発電機、ポンプ、バルブ、エンジン、トランスミッションシステムを提供。世界各地の工業、自動車、建設、商業、航空宇宙の市場向けに事業を展開。

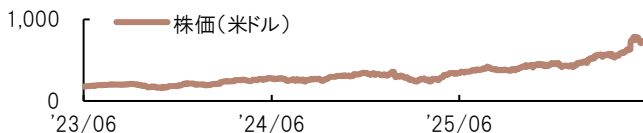


エネルギーインフラ

クアンタ・サービシーズ【PWR US】

組入比率:4.6%

クアンタ・サービシーズは特殊工事請負会社。電力会社、通信・ケーブルテレビ会社、政府機関を顧客に持つ。商工業向けに輸送管理や照明システムの導入、特殊電力・通信サービスなども提供。北米で事業を展開。

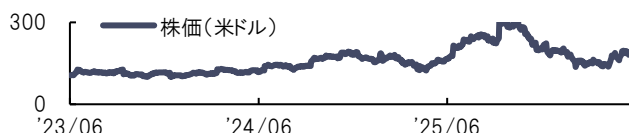


クラウドインフラ

オラクル【ORCL US】

組入比率:5.8%

オラクルはクラウドテクノロジー会社。クラウド、マルチクラウドAIデータベース、AIデータプラットフォームなどのインフラソフトウェアや、各種アプリケーションソリューションおよびサービスを提供。世界各地で事業を展開。



・株価期間:2023年6月1日~2026年5月29日

・組入比率は現物株式部分をベースとした数値です(2026年5月末時点)。

・カテゴリは、NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Indexにおいて、FactSet RBICS Level 6を基にAIインフラ関連銘柄を分類したものです。

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、各カテゴリのうち、2026年5月末時点で組入比率が最も高い銘柄および組入比率を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

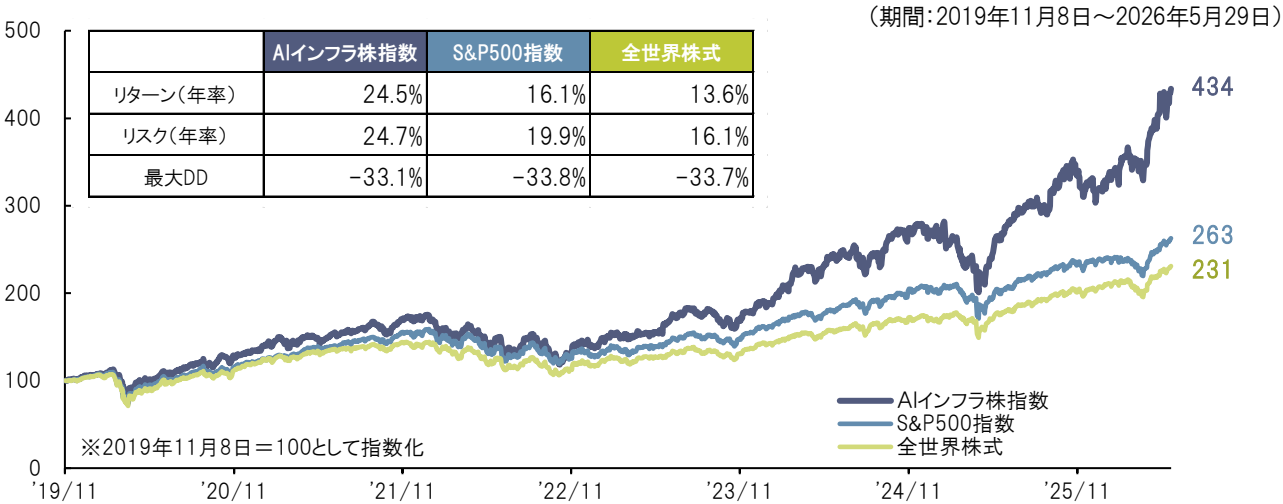
・上記は、過去の実績であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

(ご参考) 指数のパフォーマンス

(ご参考) NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Indexと主要株式指数の推移

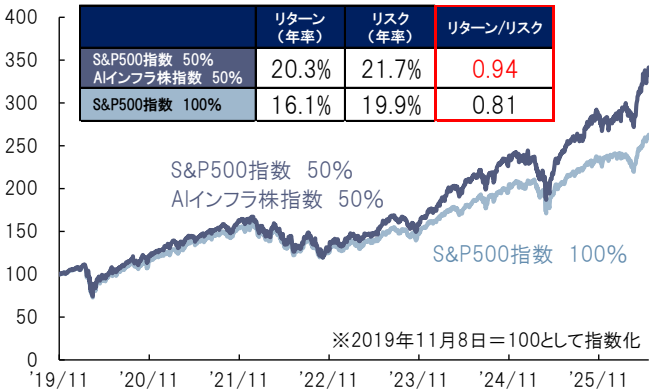


(ご参考) 主要株式指数との併せ持ちシミュレーション

S&P500指数、全世界株式それぞれの指数のみに投資したと仮定した場合と比較して、AIインフラ株指数を併せ持ちすることで、下記の期間においては、リスクは上昇したものの運用の効率性も向上しました。なお、運用の効率性とは、リターンをリスクで割ったリスク調整後のリターンで、その数値が高いほど負ったリスクに対して相対的に高いリターンをあげたことを意味しています。

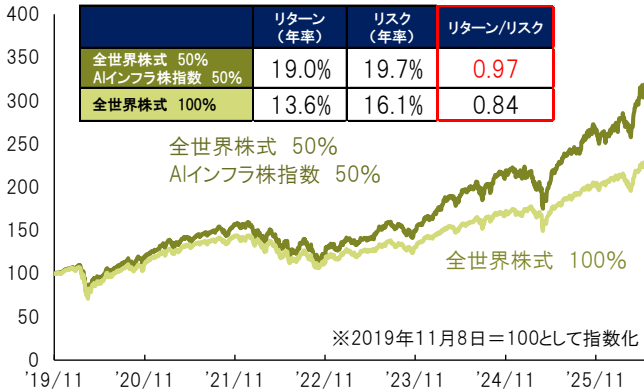
(ご参考) S&P500指数とAIインフラ株指数を併せ持ちした場合のシミュレーション

(期間: 2019年11月8日 ~ 2026年5月29日)



(ご参考) 全世界株式とAIインフラ株指数を併せ持ちした場合のシミュレーション

(期間: 2019年11月8日 ~ 2026年5月29日)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

- ・リターン(年率)は日次騰落率の平均、リスク(年率)は日次騰落率の標準偏差をそれぞれ年率換算したものです。
- ・最大DDは、最大ドローダウンのことで日次の直近最高値からの最大下落率を表しています。
- ・上記は指数(配当込み、米ドルベース)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- ・「AIインフラ株指数」はNYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Indexを使用しています。
- ・「全世界株式」はMSCI オール・カンTRIES・ワールド・インデックスを使用しています。
- ・S&P500指数と全世界株式は米国株式市場と全世界株式市場の動向を示す参考として掲載しており、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・(ご参考) 主要株式指数との併せ持ちシミュレーションは実際の運用とは異なります。
- ・各指数を50%:50%で併せ持ちしたものは日次でリバランスしています。
- ・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

本資料は、MAXIS米国AIインフラ株上場投信の概要とポートフォリオ等の状況について投資家のみなさまにご理解を深めていただくために概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

ファンドの投資リスク

- 基準価額・市場価格の変動要因(以下、両者を合わせて「基準価額等」と言う場合があります。)
ファンドの基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。また、ファンドの市場価格は基準価額の変動以外に市場要因等の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額等の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。
ファンドの基準価額の主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスクです。
上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他の留意点:ファンドは、NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Index(円換算ベース)の動きに連動することをめざして運用を行います。信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、現物株式投資の代替で投資した株価指数先物取引等と当該指数の動きが連動しないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比に違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、委託会社やその親会社に係る資本規制により、特定の銘柄への投資を行わないことがあること、為替の評価による影響等の要因により乖離が生じることがあります。

ファンドの費用

ご購入(追加設定)の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

◎お客さまが直接的に負担する費用

<購入申込・換金請求をされるお客さま>

購入時	購入時手数料	販売会社が定める額 (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
換金時	信託財産留保額	ありません。
	換金時手数料	販売会社が定める額 (換金される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

<取引所を通してお取引されるお客さま>

売買時	売買委託手数料	取引所を通してお取引される場合、取扱い第一種金融商品取引業者(証券会社)が独自に定める売買委託手数料がかかり、約定金額とは別にご負担いただきます。 (取扱会社ごとに手数料が異なりますので、その上限額を表示することができません。)
-----	---------	---

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <u>年率0.5225%(税抜 年率0.475%)以内</u> をかけた額 (有価証券の貸付の指図を行った場合) 有価証券の貸付の指図を行った場合には品賃料がファンドの収益として計上されます。 その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取ります。 この場合、ファンドの品賃料およびマザーファンドの品賃料のうちファンドに属するとみなした額の <u>49.5%(税抜 45.0%)以内</u> の額が上記の運用管理費用(信託報酬)に追加されます。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 監査法人に支払われるファンドの監査費用／有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料／有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用／その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。 上記のほか、以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・受益権の上場に係る費用(新規上場料(新規上場時の純資産総額に対して0.00825%(税抜0.0075%))、追加上場料(追加上場時の増加額に対して0.00825%(税抜 0.0075%))、年間上場料(毎年末の純資産総額に対して最大0.00825%(税抜 0.0075%))、その他新規上場に係る費用(55万円(税抜 50万円))) ・対象指数についての商標(これに類する商標を含みます。の使用料(信託財産の純資産総額に年率0.05%(上限)をかけた額)

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用、受益権の上場に係る費用および対象指数についての商標の使用料は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

本資料に関するご注意事項

- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示ではありません。販売会社（指定証券会社）において、株式または金銭の拠出により購入（追加設定）される際は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。（販売会社（指定証券会社）は弊社HPのファンドページの「指定証券会社」でご確認いただけます。<https://maxis.am.mufg.jp/>）なお、取引所を通してETFをお取引される際は、各証券会社が交付する上場有価証券等書面の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料で使用している指数について

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

本日本語訳は三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、解釈に相違が生じた場合には英語版が優先されます。

【「NYSE FactSet U. S. AI Infrastructure Index」の著作権等について】

ICEは、ICE Data Indices, LLC（以下「ICEデータ」）またはその関連会社のサービス/商標です。これらの商標は、MAXIS米国AIインフラ株上場投信（以下「本商品」）に関連して三菱UFJアセットマネジメント株式会社が使用するために、NYSE FactSet U.S. AI Infrastructure Index（円換算ベース）（以下「インデックス」）とともにライセンスが付与されています。三菱UFJアセットマネジメント株式会社および本商品のいずれも、ICE Data Indices, LLC、その関連会社または第三サプライヤー（以下「ICEデータおよびそのサプライヤー」といいます）によって後援、承認、販売、または宣伝されるものではありません。ICEデータおよびそのサプライヤーは、証券全般、特に本商品または本信託への投資の妥当性、または一般的な市場のパフォーマンスを追随するインデックスの能力について、いかなる表明または保証も行いません。ICEデータと三菱UFJアセットマネジメント株式会社との関係は、特定の商標、商号およびインデックスまたはその構成要素のライセンス供与に限られます。インデックスは、三菱UFJアセットマネジメント株式会社、本商品またはその保有者に関わらず、ICEデータにより決定、作成、および計算されています。ICEデータは、インデックスの決定、作成、あるいは計算において、三菱UFJアセットマネジメント株式会社または本商品の保有者の要求を考慮に入れる義務を一切負いません。ICEデータは、本商品の発行時期、価格または数量の決定について、また、本商品が価格付けされ、販売され、購入され、または償還されるための計算式の決定に関与しておらず、また、その責任を負いません。特定のカスタム指数算定サービスを除き、ICEデータが提供する情報は一般的性格を有するものであり、三菱UFJアセットマネジメント株式会社またはその他の者の個別のニーズに合わせたものではありません。ICEデータは、本商品の管理、マーケティングまたは取引に関連するいかなる義務または責任も負いません。ICEデータは投資顧問会社ではありません。指数への組入れは、ICEデータによる当該証券の購入、売却または保有の推奨を意味するものではなく、投資助言とみなされるものでもありません。

ICEデータおよびそのサプライヤーは、指数、指数データ、およびそれらに含まれる、関連する、またはそこから派生する情報（以下「インデックスデータ」）を含む、商品性または特定の目的または用途への適合性の保証を含む、明示および/または黙示を問わず、すべての保証および表明を否認します。ICEデータおよびそのサプライヤーは、指数およびインデックスデータの妥当性、正確性、適時性、または完全性に関して、いかなる損害または責任も負わないものとし、お客様の使用はお客様ご自身の責任で行われるものとします。

Source ICE Data Indices, LLC (“ICE Data”), is used with permission. ICE® is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates. These trademarks have been licensed, along with the NYSE FactSet U.S. AI Infrastructure Index (JPY-converted) (“Index”) for use by Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. in connection with MAXIS US AI Infrastructure Equity ETF (the “Product”). Neither the Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. nor the Product, as applicable, is sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data Indices, LLC, its affiliates or its Third Party Suppliers (“ICE Data and its Suppliers”). ICE Data and its Suppliers make no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Product particularly, the Trust or the ability of the Index to track general stock market performance. ICE Data’s only relationship to Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. is the licensing of certain trademarks and trade names and the Index or components thereof. The Index is determined, composed and calculated by ICE Data without regard to the Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. or the Product or its holders. ICE Data has no obligation to take the needs of the Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. or the holders of the Product into consideration in determining, composing or calculating the Index. ICE Data is not responsible for and has not participated in the determination of the timing of, prices of, or quantities of the Product to be issued or in the determination or calculation of the equation by which the Product is to be priced, sold, purchased, or redeemed. Except for certain custom index calculation services, all information provided by ICE Data is general in nature and not tailored to the needs of Mitsubishi UFJ Asset Management Co., Ltd. or any other person, entity or group of persons. ICE Data has no obligation or liability in connection with the administration, marketing, or trading of the Product. ICE Data is not an investment advisor. Inclusion of a security within an index is not a recommendation by ICE Data to buy, sell, or hold such security, nor is it considered to be investment advice.

ICE DATA AND ITS SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY INFORMATION INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM (“INDEX DATA”). ICE DATA AND ITS SUPPLIERS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES AND THE INDEX DATA, WHICH ARE PROVIDED ON AN “AS IS” BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK.

MAXIS米国AIインフラ株上場投信<銘柄コード:552A>

● 設定・運用は



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

MAXIS専用サイトもご覧ください

<https://maxis.am.mufig.jp/>

MAXIS

検索

約2分半でわかる！商品性解説動画

成長が期待されるAI市場をインフラという視点から捉える当ファンドの概要を動画でご紹介しています。

商品性紹介ページ

AIインフラを取り巻く環境や、当ファンドの概要をご紹介した特設WEBサイトです。



・動画は、三菱UFJアセットマネジメントが作成・管理。・一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。

資産運用の
次の一手に
MAXISを



「MAXIS(マクシス)」とは

三菱UFJアセットマネジメントが提供するETFブランドです